

解説

乳用種牡牛の現況とその利用 (その2)

畜産課

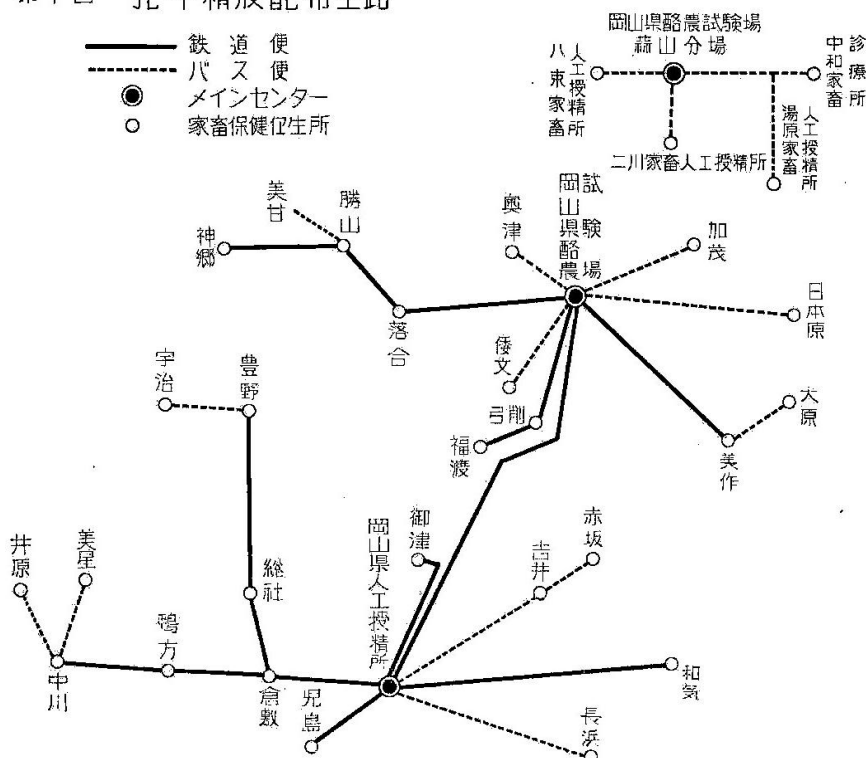
◎ 最近の人工授精の概況

1、精液の配布経営

酪試センターは毎週月、木曜日に精液を採取し、主として県北の管下サブセンターに定期輸送しております。又家畜人工授精所センターにも一部補給

しております。家畜人工授精所センターは火、金曜日に採取して県南のサブセンターに輸送しております。蒜山分場は、蒜山ジャージー地区を受持っております。これらの経路を示しますと、第1図の如くになります。

第1図 乳牛精液配布経路



2、精液の性状と利用

これらの種牡牛から、昨年度は、36.012ccの精液が生産されました。この内、ホルスタイン種は32.616cc、ジャージー種が3.396ccとなっております。これらの精液は、ストローに詰められて、輸送されます。このストローの利用状況は、県北が49パーセント、県南が61パーセントになっております。ジャージー種は45.3パーセントが利用されております。

第4表 種牡牛別精液性状と利用状況

(昭和34年度)

品種	名	号	平均採取量 cc	平均精子数 (1cc中)	平均活力 %	平均調整量 cc	平均配布量 cc	利用率 %					
ホルスタイン種	バブストウォーカー	コバーク	6.31	10.6億	82.8	3.5	2,092	1,844	43.5				
	ウォーカー	プロスペクト	アスター	8.1	12.8	86.8	3.4	2,356	2,204	54.7			
	第60カーネーション	ガヴァナー	インペリアル	7.5	11.7	83.8	5.6	3,851	3,613	55.8			
	第13キングベッジー	セントラム		8.8	11.8	82.7	8.6	5,000	4,472	41.0			
	ロマンダー	ゴリヤス	プライド	ミソノ	6.7	12.5	88.9	2.2	3,250	2,861	56.7		
	第4カーネーション	ホームステッド	グレース	5.1	12.5	83.8	1.8	2,305	1,903	50.8			
	サー	ガヴァナ	フェムコ	ローヤル	4.9	12.2	80.0	7.5	2,789	1,921	68.1		
	キングドン	スプリング	パンク	レーク	サイド	8.4	11.9	80.0	10.4	2,599	1,316	50.6	
	レカ	グラハム	グルーテ	ミソノ	6.9	10.7	80.0	3.4	5,028	3,422	68.1		
	第15エンパイア	ウォーカー	ローベル	6.9	9.6	80.0	7.8	3,346	2,166	64.7			
ジャージー種	アイシーユー	ドラス	ブロンド	スポーツ	イング	ラディー	6.5	11.2	87.5	5.5	985	855	39.7
	ブローニース	ツウイン	クリング	スター	オー	・エス・エフ	5.3	13.9	91.5	2.0	895	789	49.1
	第8ロマンダー	ス	ウエスタン	ミスズ	5.8	—	—	—	—	329	—	64.0	
	スターダスト	ローヤリスト	ジュニア	ース	ゼスター	5.9	—	—	—	493	—	69.2	
	ブルー	レーク	フェリックス	7.6	—	—	—	—	—	694	—	42.5	

FLY YOUR FREIGHT KLM

Spermanettes

精液銀行のカタログ

精液の性状については、別表第4のとおりであります。現在の技術では、精液の稀釈倍数、保存期間等に限界があつて、これ以上の利用拡大は至難と思われます。

3、受胎成績

ホルスタイン種の受胎率は、吾国では平均50パーセントと云われております。本県の受胎成績をあげてみますと、次の第5表の如くであります。ジャージー種の方が僅かに受胎率が良いようです。

◎ 精液の凍結とその利用

本誌でも紹介されておりますように、最近凍結精液が、普及して参りまして、本県も、本年度より実施することになっておりますが、零下79度で保存された精液は、半永久的に使用出来るのであります。優良種牡牛の精液を、大量に蓄えておき、何時でも好みのものが使用出来るとするならば、人工授精技術面からも、改良面からも、正に理想的な技術となりましょう。従来、精液処理方法では、実用使用可能日数が数日であるため、この間に、使用されなかったものは、全部廃棄されておつたので、利用率が低く、無駄が多かつたのですが、凍結精液では、100

パーセント使用出来ます。又、従来は、種牡牛を撰定して、自分の牛に授精したいときも、採取の都合で入手出来ないこともあり、好みの牛を種付けすることが出来なかつたため、改良の隘路となつておつた事も解消します。更に良いことに、保存日数が長いために、北海道や遠く外国の酪農先進地から、優良種牛の種を輸入することが出来ます。ドライアイスで完全に保存すれば、大量に購入出来るので、極端に云えば種牡牛の輸入をしなくても足りる時代が来ると思ひます。

現在、オランダ、カナダ、アメリカ等では精液銀行が作られておりまして、互いに精液の交流が図られております。吾国にも精液を買ってくれと云うことで、カタログを送つて来ております。その1部を紹介しますと、次の写真のようです。

しかし、この精液凍結化にも、コストが高いとか、固体による凍結能の差が大きいとか、未だ問題点も残つております。又、家畜改良増殖法と云う法律、この凍結精液が出来ていなかった時代のものであるため、この新しい技術を導入するためには、一部改正を要する点もあります。精液を外国から輸入する場合、種牡牛の証明、通関時の検疫、注入母牛の検疫、等々法的にも解決を迫られる点が多いのです。

(竹原宏技師)

第5表 岡山県における乳牛人工授精成績

	年 度	授精数	受胎数	不 胎 数	成 不 績 明	受胎率	備 考
ホ ル ス タ イ ン 種	昭和21年度	231	85	146	0	36.78%	岡山種畜場 卵黄加井戸水保存 生食倍加ビベット注入
	昭和27年度	670	365	305	0	54.47	岡山種畜場 供用種牡牛4頭 冷蔵庫4°C保存 グルコチトラート倍加県南5カ所に配布
	昭和28年度	1,083	397	656	30	37.70	〃
	昭和29年度	1,886	768	660	458	53.78	津山畜産農場 供用種牡牛3頭 グルコチトラート、ホモチトラチン、セミナン使用 県北8カ所に配布
	昭和30年度	1,747	906	673	168	57.37	〃
	昭和31年度	9,284	3,299	3,286	2,699	50.09	岡山県酪農試験場 供用種牡牛8頭 セミナン使用 県下20カ所に配布
	昭和34年度	6,093	3,053	不明	不明	50.01	〃 供用種牡牛10頭 〃 県北11カ所に配布
	昭和34年度	5,185	2,510	2,089	586	54.36	岡山県家畜人工授精所
ジ ャ ー ジ ー 種	昭和29年度	93	52	41	0	55.91	岡山県酪農試験場 供用種牡牛1頭 昭和29年12月末より翌年3月末までの津山市にお ける成績
	昭和30年度	178	90	76	12	54.22	〃 供用種牡牛2頭 セミナン使用 津山市の成績
	昭和31年度	336	173	163	0	51.49	〃
	昭和34年度						

(おことわり)
前号(その1)
に登載の写真は
精液銀行のカタ
ログ表紙であり
ました。